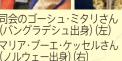
第24回 外国人市民による日本語スピーチコンテスト



毎年恒例「外国人市民による日本語スピーチコンテスト」 が行われました。 開催日の2月16日(土)は、少し春の気配 を感じる好天に恵まれました。

7か国出身の参加者15名によるスピーチのテーマは多 種多様で、それぞれにとても印象に残る内容でした。審査 委員長の関口明子さんは講評の最後で、「今の世の中で、 日本を選んで来てくれた若者たちを見てうれしく思います。 これからもよろしく…」と感慨深く語られていました。





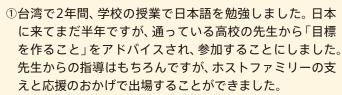




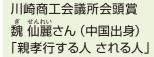
上位受賞2名にインタビューしました。 「質問内容]

- ① 日本語スピーチコンテストに参加したきっかけ
- ② テーマを選んだ理由と伝えたかったこと
- ③ 川崎の好きなところ、良いと思うこと

最優秀賞 戴 曼玲さん (台湾出身) 「東京の電車」



- ②毎日、品川から武蔵小杉まで通学しています。品川駅はた くさんの路線が通っていて、大勢の人がいろいろな方向に 向かって歩いていることに、はじめは本当に驚きました。 遊びに出かけた時は逆方向の電車に乗ってしまったり… いろいろな経験をしたのでこのテーマにしました。
- ③在学している高校が大好きです。学校の最寄り駅の近くに ある「グランツリー武蔵小杉」もよく行きます。また、日本の コンビニも好きで、アメリカンドッグをよく食べています。



- ①「家族に感謝する気持ちや愛を伝えることはとても大切 だ」ということを皆さんに伝えたい。それを伝えることが 社会への貢献になると思っています。スピーチコンテスト は、そういう自分の気持ちを伝える良い機会なので参加し ました。今日は自分の考えが伝わり、賞をいただいて、私 にとっての社会貢献の新しいスタートになったと思います。
- ②私は自分の家族が大好きです。親が高齢になっていくのを 感じ、これからは、もっともっと親子や家族の関係を大事 にしたいと思っているので、このテーマを選びました。
- ③今留学している専修大学が好きで、住んでいる大学寮での 生活が楽しいです。ゼミの先生が素晴らしく、大学には親 しい友だちもいて、毎日とても楽しく学んでいます。川崎 の良いところは、人が優しいことと空気がきれいなことです。



川崎ライオンズクラブ 優秀賞 朱 浄鋭さん (中国) 「私は着物がすき!」



川崎市国際交流協会 優秀賞 李 静怡さん (台湾) 「ありがとう」



川崎ライオンズクラブ 特別賞 ウィン レッ レッ トゥンさん (ミャンマー) 「今、伝えたいこと」



川崎市国際交流協会 特別賞 ジェッサダゴーン・ティチプンデッチャさん(タイ) 「日本に来て幸運な私」

(取材・原稿:編集ボランティア 相沢 明子、小島 俊彦)(写真:安田 芳郎)